2016. Vol.46 春号

アイ・シーたんなんだより
公立丹南病院

福井県理学療法士協会主催による市民公開講座

なぜピロリ菌の除菌治療が必要なのか？

公立丹南病院　内科部長　伊藤義幸

ピロリ菌（ヘリコバクター・ピロリ菌）について、テレビ、新聞、雑誌などで目にされた方も多いと思います。それでは、なぜピロリ菌の除菌治療が推奨されるのでしょうか。まず、ピロリ菌の除菌によって、消化性潰瘍の再発率が大きく減少し、ほとんどの方で繰り返す〝潰瘍症〟からの離脱が可能となります。また、日本発の臨床研究から、ピロリ菌を除菌することによって胃癌の発生が3分の1程度に抑制されるとされています。この胃癌抑制効果は若い人ほど大きいとされていますので、特に若い方には、一度は内視鏡検査とピロリ菌の検査を受けていただきたいと思います。

ちなみに日本では毒性の強いピロリ菌が多数を占めることが判明しており、それが日本で胃癌や胃潰瘍の多い原因とも考えられています。他に、MALTリンパ腫や特発性血小板減少性紫斑病の方、胃の調子がいつも悪い方、貧血や蕁麻疹のある方でも除菌治療によって疾患が治癒したり、症状が改善する方がいらっしゃいます。

除菌治療により、海外では胃酸が逆流し、胸焼けなどを生じる逆流性食道炎が増加したという報告がありましたが、もともと胃酸分泌の少ない日本人には、除菌後の胃酸逆流は軽微であり、逆流性食道炎を来しても、多くは短期間で軽快するとされています。

また、除菌治療後には胃が元気になるため、食事が美味しくなり、太ってしまったという方がいらっしゃいますので、除菌治療後の体重増加には注意が必要です。なお除菌したからといって、胃癌や潰瘍になる確率がゼロになるわけではないので、定期的な内視鏡検査をお勧めします。

当院ではピロリ菌に対する除菌治療を強く推奨しており、胃がん検診などで内視鏡検査を受けられ、ピロリ菌感染が疑われた方には積極的に抗体検査などの感染診断をお勧めしています。除菌治療を受けるためには当院もしくは他院で内視鏡検査を6カ月以内に施行し、検査でピロリ菌感染が証明されていることが必要です。

ピロリ菌の除菌治療に関して詳しくお聞きになりたい方は、お気軽に内科外来にお問い合わせください。

市民公開講座
「産後のトラブルと対処法」に参加して

公立丹南病院
前田宗寿

2015年11月15日に、公益社団法人福井県理学療法士協会主催による市民公開講座「産後のトラブルと対処法」が、公立丹南病院にて開催されました。講師にインターリハ株式会社の田舎中真由美先生をお招きし講演していただきました。

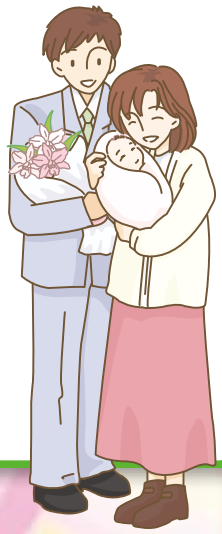
産後のマイナートラブルの現状、妊娠・出産によるからだの変化、産後のトラブル予防・解消、について事例をもとにお話ししていただき、リハビリテーションの新たな領域だと感じました。

産後のマイナートラブルの現状について、産後何らかのトラブルを訴える方の割合は約76%であり、多くのトラブルは骨盤機能に関連するものでした。妊娠中に約88%の方がトラブルを訴えているにもかかわらず、リハビリテーションなど治療を受ける人は全体の3%未満だというのが現状で、その多くの方は骨盤ベルトで対応しているとのことでした。このことが産後のトラブルを訴える人が多い原因であり、妊娠中からリハビリテーションを行うことにより、産後のトラブルが予防されると話されました。

妊娠・出産によるからだの変化として、妊娠中の方は姿勢に変化がみられます。おなかの膨らみとともにおなかを前に突き出し、背中が反った状態になります。このことで、出産後はおなかの筋肉や骨盤の底の筋肉は伸びて弱くなっており、背中の筋肉は過活動状態になっています。

このような姿勢の変化が、肩こり・腰痛・排泄トラブルの原因となっているとのことでした。そのため、リハビリテーションによる運動指導により、腹横筋・骨盤底筋群のエクササイズやトレーニングを行うことが、産後のトラブル予防・解消になることを学びました。

妊娠、出産に伴うからだの変化を理解し、妊娠中からリハビリスタッフが介入することで、産後のトラブルを予防・解消できることを学びました。



医療安全管理室紹介

医療安全管理室は、組織横断的に院内の安全管理を担うために、平成24年に新設され専任の職員が配置されました。平成27年4月からは専従の医療安全管理者が配置され患者の皆様の安全を守る、職員の安全を守ることを任務に、医療安全活動を行っています。

医療事故は起こしてはいけないことですが、人間である以上間違いを起こすことは避けられないものです。院内で発生した医療安全に関わる事例を早急に検討するため、毎週医療安全カンファレンスを開催しています。院内の巡回を行い、各部門における安全対策の実施状況を確認し、事例の分析と事故防止対策を立案し院内へ周知しています。 職員の医療安全啓発のため、年に2回の全職員向けの研修と、院内の各部署・委員会等と協力した医療安全研修も行っています。

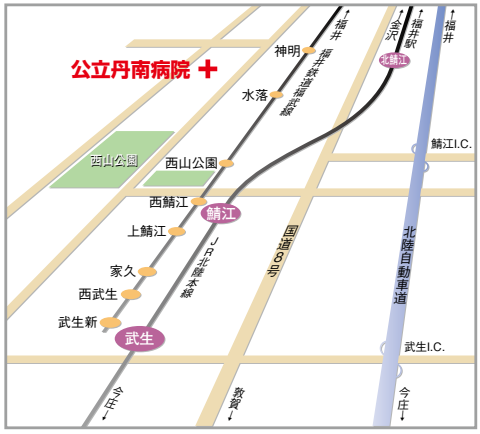
また、患者の皆様や御家族の皆様の医療に関するご相談をお受けし、必要があれば担当部署との調整をしながら対応させていただいています。

患者の皆様と職員の安全を守る医療安全管理室をどうぞよろしくお願いいたします。

公立　丹南病院

〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31

公立 丹南病院
TEL:0778-51-2260　FAX:0778-52-8620
ホームページ:http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/
メールアドレス:tannan-info@jadecom.or.jp



公立丹南病院　在宅事業部

居宅介護支援事業所
訪問看護ステーション
〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL:0778-52-2050　FAX:0778-52-2151
メールアドレス:tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

通所リハビリテーションセンター なごみの里
〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL:0778-51-5234　FAX:0778-51-8242
メールアドレス:tannan-nagomi@jadecom.or.jp

通所介護 よつばの里
〒916-8515　福井県鯖江市三六町１丁目2-31
TEL:0778-51-5411　FAX:0778-51-8242
メールアドレス:tannan-yotuba@jadecom.or.jp